

例会報告

第2787回例会報告議事録

日時 令和7年5月27日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.：梶会員

会長挨拶

日暮会長



先週5月20日の合同例会、鈴木ガバナー補佐と依田ガバナー補佐幹事におかれましては、楽しい企画をしていただきまして、ありがとうございました。小池会員にはゴルフコンペの方を仕切っていただきまして、ありがとうございました。受付等を手伝ってくださった皆様、ゴルフに参加してくださった皆様、合同例会に参加してくださった皆様、朝早くから夜遅くまでありがとうございました。合同例会、楽しい雰囲気の中で終えることができました。

来週は親睦旅行、あとは新旧交代式を迎えれば、どうにか自分の会長年度も終わるのかなと、だんだん明るい気分になってまいりました。あと1ヶ月、皆さん、よろしく願いいたします。

親睦委員会報告

野田委員長



来週の火、水と親睦旅行になります。詳細に関しましては又グループラインに送らせていただきたいと思います。楽しい旅行になると思いますので、よろしく願いいたします。

出席委員会報告

谷川会員代理



25名(出席免除者含む)出席(全員で34名) 出席率76.47%

業務による欠席：荒井会員、石原会員、甲斐会員、上村(英)会員、
倉持会員、古谷野会員、藤本会員、湯下会員

ZOOMによる出席：なし

幹事報告

寺井幹事



- ・来月第3週、17日に委員長活動報告とありますので、委員長の方はご準備をお願いします。
- ・その翌週は例年通り新旧交代式を夜間例会でこちらで行います。詳細決まり次第またご案内させていただきます。
- ・ガバナー事務所よりミャンマー地震支援が来ているのですが、ミャンマーは軍事政権化していて連絡がうまく取れないそうです。隣国のタイ等に問い合わせてもノータッチとのことですが、個人的に支援されたい方は事務局の方にお声がけください。



2、3年前に卓話をやらせていただいたのですが、前回、私が話したことを誰か覚えていますか。世界の天才達のルーティーンについてお話ししました。どの天才も同じようなルーティーンで生活をしている。その小さな積み重ねが天才達を生んでいるんだというような話をしました。

今回、皆さんにお話ししたいのは宮沢賢治です。この卓話をした後に、旅行に行きたいなと思ってもらえるような終わりにしたいです。そうなってれば今日の卓話は成功だったということで、まずご理解していただきたいと思います。

なんで宮沢賢治かというと、宮沢賢治を語らずして岩手県を語れず、というような人です。

宮沢賢治の代表作として「銀河鉄道の夜」があります。読んだことあるよ、という方いらっしゃいますか。

「銀河鉄道の夜」と聞いて思い出すことはありませんか。スリーナイン?内容は全く違います。

まずスタートはジョバンニが教室で授業を受けるシーンから始まります。

主人公はジョバンニといいます。親友のカンパネルラ。いじめっ子のザネリ。大きくこの3人の登場人物を押さえておけば大丈夫です。

ここで疑問に思いませんか。

宮沢賢治って、明治から昭和初期にかけての作家で、岩手県の話なのに登場人物の名前が外国名でおしゃれです。

宮沢賢治は岩手県とをイーハトーブと呼んでいます。宮沢賢治はそういうおしゃれな世界観をプロデュースしています。

「銀河鉄道の夜」は、途中で読むのをやめちゃう人がいます。挫折ポイントです。文章の書き方も独特だし何を伝えたいのかわからない作品でもあります。

ジョバンニの村での生活がものすごく辛い。「銀河鉄道の夜」ってキラキラした宇宙旅行の話かなと思って読み始めると、全く違う。地味な村での生活が描かれている。

ジョバンニは同級生に「ラッコの上着」と言って父の仕事をいじられる。父が密猟者といじられる。

放課後のバイトは活字拾い。活字拾いが何のことかわからない。100年くらい前で、何のことかわからない事が多いから挫折するんです。活字拾いというのは、棚に活版印刷の金属の文字が並んでいて、それを一字一字拾う作業です。家が貧しくて、ジョバンニはその仕事をしていました。

バイトが終わって自宅に帰ると、お母さんが病気で寝たきりです。

届いているはずの牛乳が配達されていないので、ジョバンニは牛乳屋さんに行きますが、担当がいなくて明日来てくださいと言われて追い帰されてしまいます。

その帰りにいじめっ子のザネリとその一味と遭遇し、「ラッコの上着」といじられます。一番つらかったのは、親友のカンパネルラがその中にいたことです。ジョバンニはひとりになりたくて丘の方に走り出しました。

丘に寝そべって夜空を見上げていました。なんで僕ばかりこんな辛い目にあうんだろうと思いつつ夜空を見上げてみると、夜空の星がふわふわと光り出して、その瞬間に列車の中にいました。丘から列車への場面転換が唐突です。

周りを見回すと同じような世代の子が座っていて、よく見てみるとカンパネルラでした。そこでジョバンニはカンパネルラに聞きます。

「ザネリ達はどうしたの?」とジョバンニが聞くと「もう帰ったよ。お父さんが迎えに来た」とカ

ンパネルラ。

カンパネルラは「お母さんは僕を許してくださるだろうか」と言いました。ジョバンニは何を言ってるか全くわかりませんでした。

この2つの文言は非常に重要なセンテンスなので頭の片隅に留めておいてください。

そこから銀河鉄道の旅が始まります。風景がものすごく綺麗です。

銀河駅の北十字から南十字へ行く列車です。りんどうやススキがたなびいています。どこをモチーフにしているかというと岩手に流れる北上川、釜石線を宮沢賢治はイメージしています。北十字から南十字は天の川をイメージしています。

北十字から出発して最初に着く所は白鳥の停車場という所です。「銀河鉄道の夜」の中で一番魅了されるのがここと言われています。

白鳥の停車場の停車時間は20分です。そこでジョバンニはカンパネルラと一緒に川のほとりまで行きます。川のほとりの砂利は砂利ではなく光り輝く水晶でした。水も足をつけると光り輝く不思議な水でした。

これは宇宙旅行ではなく天の川と北上川を融合した宮沢賢治オリジナルの世界です。

次の停車場は鷺の停車場です。そこでいろんな外国人のお客さんがぞろぞろ乗ってきます。どこから来たのか聞くと「私達の乗っていた船が氷山にぶつかって沈んでしまいました。だから私達はここにいるんです」と回答しました。この船はタイタニックです。

そんな時にこんな曲が流れてきます。ドヴォルザークの「新世界より」という交響曲です。

列車は南十字駅に到着します。そこには大きな十字架が聳え立っています。到着したほとんどの乗客はそこで降りますが、ジョバンニは降りたらいけないんじゃないかという気持ちにさいなまれます。

みんなは降りて、どこからともなくハレルヤ、ハレルヤみたいな讃美歌が流れます。みんなは十字架に向かって歩き出します。

ジョバンニとカンパネルラを乗せた列車は南十字を走り出します。ジョバンニは不安を拭えず、このままどうなっちゃうんだろうと思います。

列車の先の方を見るとブラックホールのような真っ黒い闇が続いています。ジョバンニは不安になって「カンパネルラ、ずっと一緒にいようね」と言うのですが、最後にカンパネルラはいなくなっていました。

ジョバンニは大声で泣いて「カンパネルラ!」と叫びます。そんな時にふとジョバンニは丘の上で目が覚めます。涙で顔はびしょりで鼓動も早く、何の夢だったんだろう、でも夢でよかったと思いました。

牛乳を受け取って、自宅に帰る途中にさっきの川のほとりに到着しました。川の周りに人だかりができていました。子どもが川に落ちたのでした。川に落ちたのはザネルで、ザネルは無事に助かってお父さんが連れて帰ったけれど、助けた友達、カンパネルラは助かりませんでした。

最初に言ったカンパネルラの言葉、「お母さんは僕を許してくださるだろうか」は友達のために命を投げ打ったこの僕を許してくださるだろうか、という意味でした。

カンパネルラのお父さんから「君のお父さんは明日、明後日くらいに帰ってくるよ」と聞いて、ジョバンニは牛乳を持って、そのことをお母さんに伝えなきゃと家路に帰る、というところで物語は終わります。唐突に物語は終わります。

銀河鉄道の夜と聞いて、楽しそうなきらびやかな話かと思ったら、友達を天国に見送るという話です。

ここで物語が終わるので読んでいる方もスッキリしないわけですが、これを理解するには宮

沢賢治のもうひとつの重要な作品を知る必要があります。それが「雨ニモマケズ」という作品です。

「雨ニモマケズ」というと、どんなイメージがありますか。雨にも負けず、風にも負けず。忍耐強く、と思うのも間違いではないです。時代背景としてはちょうど戦前でした。国としても国威発揚、軍隊の活用としても使われてしまいました。

でも宮沢賢治の本当に意図したところはその中ではありませんでした。本当は長い詩で、一番重要なのは最初の「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」という所と、最後の「そういう者に私はなりたい」で、人の為に命をかけて生きることこそが幸せですよ、みたいなことが書かれています。

そういう人ってどういう人かなと考えた時に、「銀河鉄道の夜」のキャンペルラじゃなかったのかなと思うのです。こういう人に宮沢賢治、ジョバンニはなりたい。作中でも出てきます。人の為に何かすることが人間の幸せだよ、みたいな、そういう風に投げかけるシーンがたくさんあります。

でも、これってなんか綺麗事みたいに聞こえませんか。いいことばかり言ってるような。

この作品は作品でもないのです。宮沢賢治は37歳で結核で亡くなっているのですが、死ぬ間際の病床で書いたメモが「雨ニモマケズ」でした。賢治が生計を立てたくて、売れたくてと言って出した作品は全部、死後です。そこで岩手の人達の心に深く刻まれています。岩手の人達で宮沢賢治を知らない人はいないし、イーハトーブを知らない岩手人もいないです。

そんな紹介のされ方です。

ここまで聞くと、それらの作品をちょっと読んでみたいと思うじゃないですか。ぜひ読んでみてください。ぜひ読んで、この物語の内容を理解した上で岩手に旅行に行ってみてください。そしたら、皆さんも岩手がイーハトーブに見えてくると思います。

ご清聴どうもありがとうございました。

閉会の点鐘

日暮会長

梶会員、卓話ありがとうございました。機会があったらイーハトーブの方に行かれたらどうかと思います。

これで5月第3例会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。点鐘します。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
日暮会長	卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井幹事	梶会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
小野会員	梶会員 深くて良い卓話をありがとうございました。	1,000円
梶会員	卓話を聞いて下さって ありがとうございます。	1,000円
上村(文)会員	卓話 有がとう。	1,000円
川村会員	梶さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(隆)会員	梶会員 卓話 有難うございました。	1,000円
小池会員	梶さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	梶会員の「銀河鉄道の夜」のお話 良かったです。	1,000円
野田会員	梶会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	梶会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
山本会員	梶会員 卓話ありがとうございました。聞きいってしまいました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
	5/20 合同例会おつかれ様でした。	12,000円
	当日計	25,000円
	今期累計	451,000円

今週の表紙「五本松公園」千葉県我孫子市岡発戸字明門作1408

緑豊かな園内には木製遊具、あずまやなどがあり、南斜面の上からは手賀沼が展望できます。この斜面では縄文時代の「貝塚」を見ることもでき、古代の人々の手賀沼周辺での生活が偲ばれます。公園駐車場の南側にある広場ではバーベキューもでき、すぐ隣の高台にはふれあいキャンプ場もあります。家族連れや若者に人気のスポットです。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。